

生物資源分野

研究領域

「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2024年	研究期間	5年間
研究課題名	牦疫撲滅に向けた研究および防疫基盤の確立		貢献 する 主な SDGs   
研究代表機関	帯広畜産大学 原虫病研究センター		
相手国	モンゴル国	主要相手国 研究機関	モンゴル国立生命科学大学獣 医学研究所
研究課題の概要			
本研究は、モンゴルの動物検疫システム強化、牦疫（こうえき）の病態精査と宿主特異性の変異可能性解析、家畜人工繁殖技術を専門とする獣医師の養成、人工授精技術などのウマ繁殖管理・牦疫対策への利用、並びに関連政府機関・関係組織などに対するウマの防疫、繁殖管理および牦疫対策基準の提案を実現することで、モンゴルの牦疫流行を制御し、撲滅への道を開くことを目的としている。具体的な取り組みは以下の4項目である。（1）牦疫の現状、ウマの飼育・繁殖・管理システムを調査し、実態と課題を明確にすること、（2）感染実験などから牦疫のウマ特異性が変化するか否かを明らかにすること、（3）病原トリパノソーマに汚染された牦疫罹患馬由来精子・卵子材料の除染技術を開発すること、（4）家畜人工繁殖技術を専門とする獣医師の養成などの若手人材育成・技術移転を実施し、近代的な動物衛生、繁殖管理および生殖補助獣医療の導入と普及を図ること。			